

行政視察報告書

令和6年 11月 18日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 高山 亨

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和6年度議会活性化検討委員会・議会運営委員会合同行政視察研修
2. 視察期間 令和6年10月30日（水）
3. 視察場所及び目的
 - ①岐阜県可児市議会
「議会改革・議会活性化について」

4. 調査内容感想等

・視察の目的

○議会改革の先進地である岐阜県可児市議会の取組に学び、本市議会の議会改革に生かしていくこと。

・視察の内容

○可児市議会の議会改革の内容（報告を受けてのまとめ）

（1）市民に分かりやすい、議会機能が発揮できる議会運営へ

・ <H17>議会質問のわかりやすさの改善…一問一答方式や対面方式の導入

・ <H20>透明性のある議会活動費への改善…議長交際費の公開、政務調査費の公開

・ <H21>公正・透明性のある議長選挙への改善…正副議長選挙における立候補制度の導入

・ <H23～H25>議会基本条例への制定に向けた特別委員会の設置

・<H24>議会報告会の実施、本会議インターネット配信の開始、予算委員会を設置し、9月定例会から
 審査を実施、議会基本条例の制定（翌年度から施行）

・<H25>議会予定の公表、議会FBの開設、議会HPの全面更新、政治倫理規定の制定、委員会会議
 録のインターネット公開、委員会のインターネット公開

・<H26>議会提案の「空き家等の適正管理に関する条例」制定（その前にパブリックコメント実施）

・<H27>議会だよりのリニューアル

・<H29>正副議長の立候補所信表明を議場で行う

・<R2>オンラインを使った災害時のBCP（議会業務継続計画）対策会議の実施

◀ (2) 市民の声を反映した、かつ参画可能な議会運営へ

・<H23>市民アンケートの実施（5年ごとに実施）

・<H26>高校生議会の開催、地域課題懇談会の開催

・<H28>ママさん議会の開催

・<H31>子育て世代との意見交換会

・<H4>完全オンラインによる議会報告会の実施、対面式とオンラインを併用したハイブリッド議会
 報告会の実施

(3) 議員の資質向上を図るための議員研修の取組

・<H26>「予算審査」、「決算審査」、「公共施設再配置」

・<H28>「地方創生時代が求める議会とは」、「一般質問」

・<H29>「議員定数・報酬」

・<H30>「これからの大学と地域連携」

・<H31>「議員活動の点検・評価を考える」

・<R2>「議会改革に必要なものは何か」「再生可能エネルギーの現状と課題」

○長浜市議会に早急に取り入れ、進めていくべき内容と感じたもの。

(1) 決算審査を通じた予算編成への提言

市の執行部が出している「重点事業」に対して、決算特別委員会で審査をし、次々年度の予算編成に生かしていくという取り組みがなされている。本市でも決算審査を行っているが、個々の議員の指摘のみで、委員会（議会）として、まとまった意見にはなっていないため、執行部への説得力としては、不十分な面がある。この、委員会としてまとめていく議論作業の方策として「重点事業」に絞るという点は、大いに参考になったところである。

(2) 委員会議論を通じた市への政策提言

委員会による「政策提言」や「委員会代表質問」の取組が数年前から行われている。個々の議員の質問や提案とは違い、議会としての総意による政策提言は、より大きな力で執行部に実現を迫ることになる。3つの常任委員会による「議会報告会」や「市民との意見交換会」をかなり以前から実施されている。そのことにより、常に所管事務についての協議を深めておられ、その発展や集約として、委員会による政策提言・代表質問に至っていると理解した。議会運営委員会にも各常任委員会の正副委員長が入ることになっており、委員会の動きを中心にして、議会がうまく動いているのではと感じた。やはり、委員会で全会一致の政策提言を生み出すには、年間を通じてかなりの協議をしていく内容と機会が必要であるのを感じた。

(3) 各分野・各テーマに基づく丁寧な議会報告会や意見交換会

「地域課題懇談会」「ママさん議会」「主権者教育としての模擬選挙」「小学生議会」「中学生議会」「高校生議会」等々、様々な階層を対象にし、色々なテーマ・内容で取り組まれている。可児市議会でも当初の議会報告会が一方通行であり、実のない内容であったと反省され、双方向で共に学び合う形式を模索しながら積み上げてこられた結果が、今日の様々な意見交換会となったようだ。議会と地域・学校・行政との協働作業としての位置づけと実践は、学ぶべきところである。コロナ禍では、オンラインによる交換会も実施され、その後、ハイブリッドと称して対面もオンラインも併用しての開催もされている。

特に「高校生議会」は、キャリア教育・総合学習・探求学習の授業の一環として、かなりの時間をかけて高校生に学ぶ機会を保障しつつ、若い世代の考えを、議会が学ぶというスタイルは、大いに参考にしたいところだ。

○今後の長浜市議会の課題

上記の可児市議会の改革を積み上げてこられた経緯を参考にして、一気に様々な取組ができるわけではなく、改善の必要性の度合いから、一つ一つ改善可能な改革に取り組んでいくことではないだろうか。すでに、委員会による「政策提言」の取組は始まっており、それが次に「委員会代表質問」に発展できるようにしていくこと。また決算審査も、全体を総括的に見ながら、一方で重点項目を絞り、委員会としてまとめられる内容を探っていくことから始めること。意見交換会も多様な取り組み方ができるようにしていくことではないだろうか。議会活性化検討委員会が始動しており、そこでの協議を進めていければと考える。